

## 北アルプス縦走（中編）

期間：平成 29 年 9 月 14 日（木）～ 9 月 16 日（土）

種別：個人 参加者：富岡 山域：北アルプス

コースタイム：

9/13 バスタ新宿(23:05)

9/14 白馬バスターミナル(5:25) ⇒ エスカルプラザ(8:15) ⇒ 地蔵の頭(8:40) ⇒ 大遠見(10:30) ⇒ 五竜山荘(12:40) ⇒ 大黒岳(13:30) ⇒ 唐松頂上山荘(16:00)

9/14 唐松頂上山荘(7:00) ⇒ 唐松岳(7:30) ⇒ 不帰キレット(8:30) ⇒ 天狗の頭(12:00) ⇒ 天狗山荘(12:40) ⇒ 白馬鑓ヶ岳(13:40) ⇒ 白馬岳頂上宿舎(15:30)

9/15 白馬岳頂上宿舎(5:00) ⇒ 白馬岳(5:30) ⇒ 白馬岳頂上宿舎(6:30) 大雪溪(8:30) ⇒ 白馬尻小屋(10:00) ⇒ 猿倉荘(11:00) ⇒ 白馬駅(14:37) ⇒ 新宿駅(18:34)

9/14 天気：曇りのち晴れ

2015 年 9 月にチャレンジした北アルプス南北縦走は上高地から出発し、コンディション不良で遠見尾根を下山した。今回はリスタートのプランで、遠見尾根から親不知をめざす。

遠見尾根は 3 年連続で登る尾根。気持ちに安心感もあり、よいペース配分で歩を進め、4 時間で五竜山荘まできた。時間の余裕もあり、天候にも恵まれ、このペースで唐松頂上山荘をめざす。

気持ちの良い稜線歩きで大黒岳まで順調にいくが、さすがに疲れがグッとくる。牛首あたりはクサリ場や傾斜のあるザレ場などが続くなかで、疲れで顔が下を向き、わずかにルートを誤る。そのわずかでもルートに戻るのに一苦勞、油断ができない。

唐松頂上山荘でテントを張ると、すぐにガスで真っ白な状態になる。この状態

は翌朝までつづき、寒い夜を過ごした。



【迫力のある五竜岳】

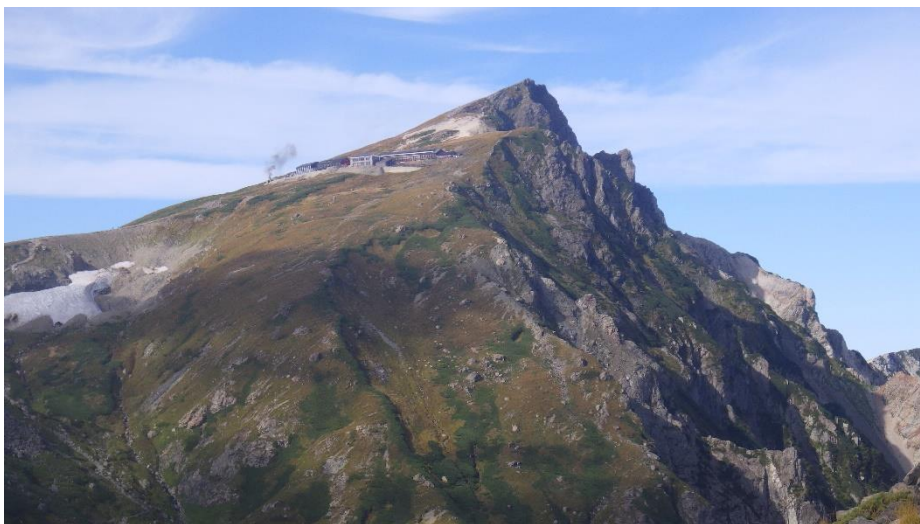
9/15 天気：晴れ

4時出発を予定していたが、ガスがあまりに濃く、出発を遅らせた。ガスがはれた唐松岳の山頂から劔岳をのぞむことができ、いい眺望だ。そして、不帰キレット、天狗の大下りもはっきりと見えると同時に、困難さを実感する。

かわいいライチョウがなく、不帰2峰北峰。ここからクサリ場が続く、不帰キレット越えがスタートする。白馬方面から南下する登山者もおらず、快適に岩場を通過できた。唐松頂上山荘から北上すると、早い時間帯に通過できるので相互通過の待ち時間が少ないという期待がある。

一方でデメリットは、天狗の大下りが大登りになること。標高差400mを親不知までの食料や装備を押し込んだザックを背負い、ただただ登る。天狗の大下り（大登り）を終えると、ようやく一安心できた。

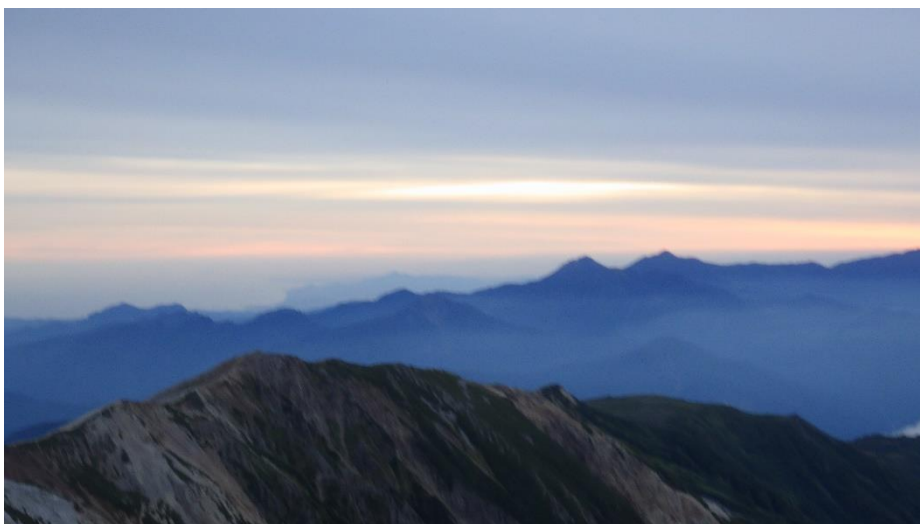
天狗の頭から白馬岳頂上宿舎までのルートは危険なポイントはないが、アップダウンがつづく。稜線から白馬山荘や白馬岳頂上宿舎が見えるものの、なかなか着かない。正面の白馬三山、左手の劔岳をながめ、歩き続けること約3時間で、テント場に到着した。



【鑓ヶ岳からの白馬岳】

9/16 天気：曇りのち雨

台風 18 号が日本海沿いに進む予報・台風通過後も悪天が続く予報・エスケープルートの問題から、下山を決定した。曇天の白馬岳山頂から見る眺めは、これまで歩いてきた槍ヶ岳をはじめとする峰々・次回歩く朝日岳などの稜線を確認できた。同時に、1つの稜線でむすぶ山歩きの面白さ・醍醐味があると実感できた。



【白馬岳から次回あるく山々】